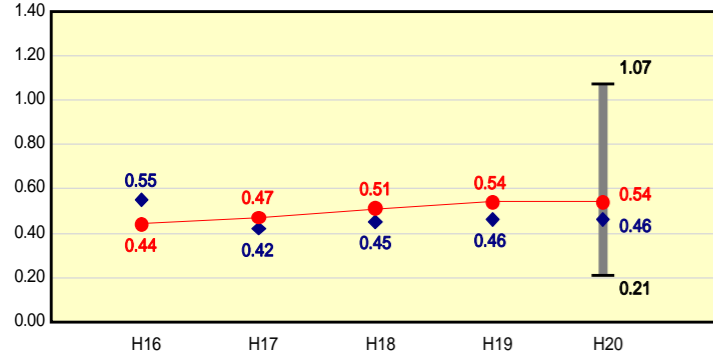


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

財政力

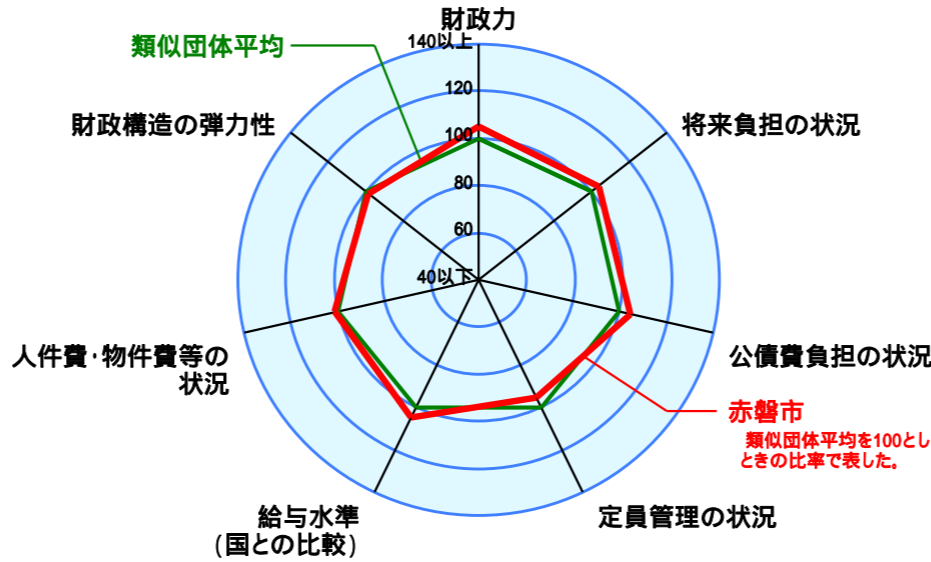
財政力指数 [0.54]



● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 33/129
全国市町村平均 0.56
岡山県市町村平均 0.47

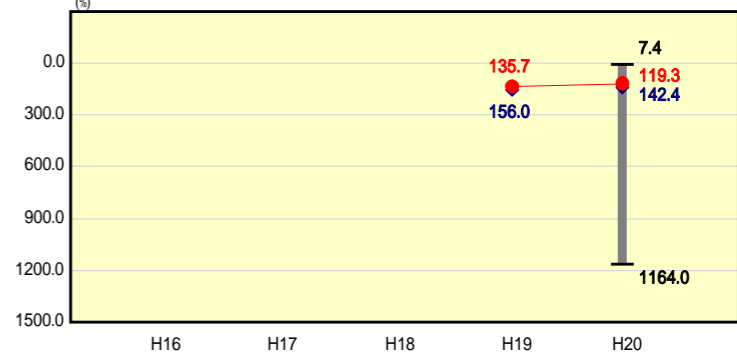
人口	44,972	人(H21.3.31現在)
面積	209.43	km ²
標準財政規模	11,844,312	千円
歳入総額	18,244,721	千円
歳出総額	17,494,628	千円
実質収支	620,204	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の状況

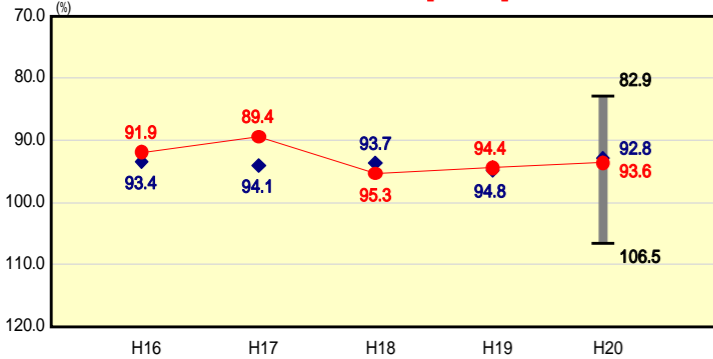
将来負担比率 [119.3%]



類似団体内順位 50/129
全国市町村平均 100.9
岡山県市町村平均 133.1

財政構造の弾力性

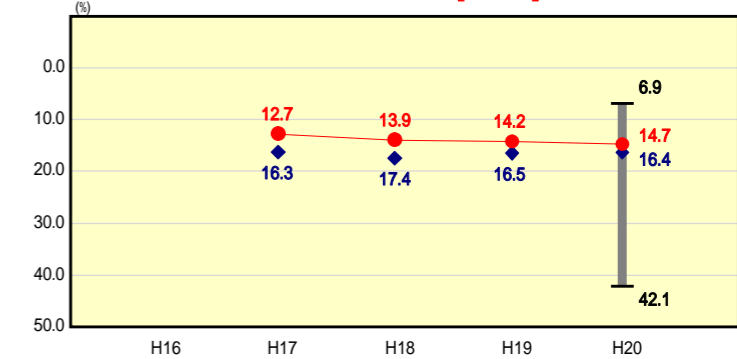
経常収支比率 [93.6%]



類似団体内順位 74/129
全国市町村平均 91.8
岡山県市町村平均 92.2

公債費負担の状況

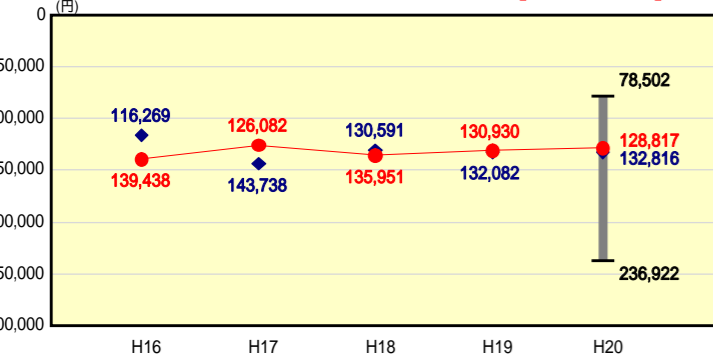
実質公債費比率 [14.7%]



類似団体内順位 44/129
全国市町村平均 11.8
岡山県市町村平均 16.4

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [128,817円]

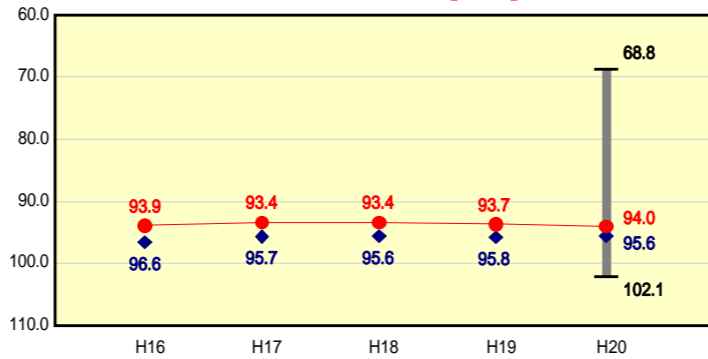


類似団体内順位 62/129
全国市町村平均 114,142
岡山県市町村平均 115,018

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準 (国との比較)

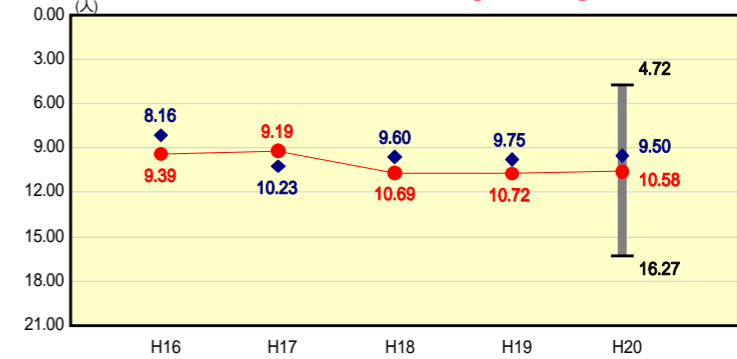
ラスパイレス指数 [94.0]



類似団体内順位 38/129
全国市町村平均 98.4
全国町村平均 94.6

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [10.58人]



類似団体内順位 86/129
全国市町村平均 7.46
岡山県市町村平均 8.02

分析欄

財政力指数: 合併後3年連続して緩やかながら伸びが見られていたが、平成20年度においては前年度と同じ0.54となっている。類似団体平均及び県市町村平均は上回っているが、全国市町村平均には届いていない。退職者の補充抑制、経常経費の抑制による歳出の削減、市税の収納強化による歳入の確保により、財政の健全化を図る。

経常収支比率: 公債費に伸びが見られたが、行財政改革による物件費の削減、普通交付税の増額により前年度0.8%となり、類似団体平均をやや上回った。退職者の補充抑制、より一層の経費節減を図り、市税等の収納率の向上、使用料・手数料の適正化により経常収支比率の低下を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 物件費の減額により昨年度より下がり、類似団体平均を下回っているが、全国及び県市町村平均は上回っている。消防業務、給食センター運営、ごみ処理等の業務を直営で行っていること等の理由により、他団体と比較して人件費が多いことが要因と考えられる。退職者の補充抑制、物品等の一括管理、指定管理者制度の導入などにより経費削減を図っていく。

ラスパイレス指数: 類似団体平均を下回っているが、今後もより一層の給与の適正化に努め、引き続き縮減努力を行うこととする。

将来負担比率: 組合等負担見込額、退職手当負担見込額の減により119.3%となり、前年度より16.4%の減少となった。今のところ類似団体平均を下回っているが、今後下水道事業の実施により公営企業債等繰入見込額が増加し、比率が上昇する見込がある。

実質公債費比率: 過去の起債抑制により、今のところ類似団体平均及び県市町村平均を下回っているが、全国市町村平均よりは上となっている。合併特例事業等の実施により公債費の伸びが予想されるため、今後上昇する兆しがある。事業の精査により、起債発行を抑制し、実質公債費比率の低下を図り、健全な財政運営を行う。

人口1,000人当たり職員数: 消防業務、給食センター運営、ごみ処理等の業務を直営で行っているため、類似団体・全国・県市町村平均を上回っている。指定管理者制度、民間委託の活用、新規採用の抑制や施設の統廃合を図り、職員の適正配置を行うことにより少人数でのサービス向上を目指す。